

# のびゆく 長崎っ子

65

平成20年9月30日 65号発行

長崎市青少年育成  
連絡協議会だより

今号の内容です。ぜひ読んで下さい。

- ★就任のごあいさつ
- ★「子ども会やろう DAY」発進!!
- ★広島・長崎子ども会親善交歓会
- ★地域の子どもの見守る「子供みこし」
- ★子どもゆめフェスティバル2008

つなげ人と心 地域の輪 子どもの出番を広げよう

## きらめく長崎の子どもたち



笑った顔 一所懸命な顔 真剣な顔 面白い顔  
宝石のように輝く 子どもたちの色々な顔 大切にしたい

## 就任のごあいさつ

長崎市青少年育成連絡協議会 会長 久米 直

平成20年度総会に於て、12年間にわたり、子ども育成のリーダーとして、長らく活動の一線にたたれた、中島公彦前会長の後を受けて、このたび、長崎市青少年育成連絡協議会の会長をおおせつかりました。

半世紀にわたり、直接、子どもたちを指導し、話しかけ、リーダー育成にも、なみなみならぬ情熱と一途な思いを傾注されてこられた中島前会長に、子どもの育成に関わる一人として心から感謝と敬意を表する次第であります。

今年度の市育成連の活動は、従来からの事業計画、「安全・安心な町づくり」の形成、非行防止、子ども会、ジュニアリーダーの育成などの広報啓発活動、「子どもゆめフェスティバル08」「広島・長崎子ども会親善交歓会」の継続強化、各地区の青少年育成活動の活性化の為の情報交換充実など、実りある組織運営を目指して、汗を流してまいりたいと存じます。

多様化する青少年の社会環境の中で、各地域の大人社会の皆さんが、おしみなく手を差し伸べていただき、よろこぶ青少年の「笑顔」、感動する青少年の「笑顔」が、「集団の風」に広がって行く事を切に願うしだいです。



## 『子ども会やろう DAY』発進!!



年度初めに小島中育成協主催で開催しているリーダー研修会。単位子ども会が子どもたちの自主的な企画で活動できるように、高学年の子どもたちにリーダーとしての自覚、仲間との協調、活動をやり遂げた達成感を持たせるものです。今年はより体験型の研修内容にしようという計画。その名も“子ども会やろう DAY”と命名し6月22日に開催しました。研修内容は料理とバルーンアートのうちどちらか一方です。

料理班の研修にはこの日の参加者84名分の昼食も懸かっています。メニューは太巻き寿司・浦上そばろ・フルーツ白玉の三品。大まかな役割を決めて始めたものの何となくどこから取り掛かったらいいのか分からない様子の子もたち。スタッフや引率と一緒に参加した子ども会指導者の助言と手助けで徐々に要領をつかみ、予定の時間はオーバーしたものの立派なお昼ご飯が完成しました。



寿司職人になれるかな？



次は私が教える番よ!!

一方、細長い風船を膨らまし、ねじって思い思いの形を作るバルーンアート。初めは割れてしまいそうで恐る恐るだったバルーンアート班の子どもたちが、先生の楽しい指導の下で、午後からのレクリエーションタイムでは料理班のみなさんに教えることができるまでになりました。

子どもたちは日常ではあまり体験しないことをやり終えて、難しく大変だったと感じたり、体験できてよかったと思ったりしたようです。また料理がおいしいと褒めてもらったり、バルーンアートを慣れた手つきで作り上げ一目置かれたりといった場面では、とてもいい表情を見せてくれました。そんなちっちゃな思いや満足が単位子ども会に反映してくれるといいなと思います。また、今回の研修では、子どもに任せる場面と大人がサポートする場面との見極めがとても難しく感じました。子ども会指導者のみなさんも感じていたようです。この大人の経験も日頃の子ども会活動の参考になればと思います。

市子連専門委員（小島小地区） 山下 洋子